



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マーベラスAQL

コード番号 7844 URL <http://www.maql.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 許田 周一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理統括本部長

(氏名) 山角 信行

TEL 03-5769-7447

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,410	46.2	849	205.3	876	237.3	531	254.7
25年3月期第1四半期	3,016	199.3	278	—	259	—	149	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 532百万円 (264.0%) 25年3月期第1四半期 146百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	993.65	—
25年3月期第1四半期	280.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	14,553	10,558	72.6	19,752.94
25年3月期	15,341	10,694	69.7	20,006.82

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 10,558百万円 25年3月期 10,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,250.00	1,250.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期期末配当金1,250円00銭の内訳は、普通配当1,200円00銭、東証一部上場記念配当50円00銭です。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,600	21.5	1,110	0.4	1,110	8.7	670	3.9	1,253.39
通期	20,000	13.8	2,900	24.5	2,890	24.3	1,770	△7.8	3,311.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	535,931 株	25年3月期	535,931 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,380 株	25年3月期	1,380 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	534,551 株	25年3月期1Q	534,551 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるエンターテインメント業界は、ソーシャルゲームの市場規模が成長を続けており、成長率自体は鈍化するものの、今後も安定した市場拡大が見込まれております。また、スマートフォンやタブレット向けのゲームアプリ市場も急成長しており、ビジネスモデルやユーザー層の変化・拡大が進んでおります。一方、家庭用ゲーム市場におきましては、依然厳しい市場環境にありますが、新型ハードの登場等で持ち直しが期待されております。音楽・映像分野では、引き続きシングルCD市場の活況やブルーレイ市場の継続成長等が見られました。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPを中核としたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）の業績は、売上高4,410百万円（前年同期比46.2%増）、営業利益849百万円（前年同期比205.3%増）、経常利益876百万円（前年同期比237.3%増）、四半期純利益531百万円（前年同期比254.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①オンライン事業

当事業のPCブラウザゲームにおきましては、「ブラウザ三国志」、「ブラウザプロ野球NEXT」、「剣と魔法のログレス」等の既存主力タイトルが順調に推移したほか、平成25年6月より、三国志の世界を舞台としたストラテジー・シミュレーションゲーム「ブラウザキングダムライジング」の正式サービスを開始いたしました。また、モバイルゲームにおきましては、「一騎当千バーストファイト」、「閃乱カグラNewWave」が前期から引き続き好調な推移となり、平成25年4月にはiOS向け新感覚コインRPG「コインサーガ」の配信を開始いたしました。

加えて、海外事業展開におきましては、平成25年5月より、人気スポーツエンターテインメント番組「SASUKE」のアメリカ版をモチーフとした「Ninja Warrior Game」を、平成25年6月より、アクションアドベンチャーRPG「Cross Horizon」をAndroid及びiOS向けに、それぞれ北米で配信を開始いたしました。

これらの結果、売上高は1,944百万円（前年同期比24.2%増）、営業利益は181百万円（前年同期比40.7%減）となりました。

②コンシューマ事業

当事業の自社販売部門におきましては、平成25年5月に発売の「ヴァルハラナイツ3（PS Vita）」が順調な販売を記録したほか、前期発売の「閃乱カグラSHINOVI VERSUS-少女達の証明-（PS Vita）」、「隴村正（PS Vita）」等のリピート受注が大変好調に推移いたしました。また、海外事業につきましても、平成25年4月に米国子会社のMarvelous USA, Inc.にてパブリッシングを行った「Pandora's Tower(Wii)」の販売も順調に推移いたしました。

アミューズメント部門につきましては、キッズアミューズメント筐体の「ポケモントレッタ」が平成24年7月の稼働開始以来、好調を継続中であり、当事業の収益に大きく貢献いたしました。

これらの結果、売上高は1,677百万円（前年同期比154.8%増）、営業利益は739百万円（前年同期は11百万円）となりました。

③音楽映像事業

当事業の音楽映像制作部門におきましては、プリキュアシリーズの新作TVアニメ「ドキドキ！プリキュア」や当社主幹事作品のTVアニメ「やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。」の放送開始及び映像商品化を行いました。

ステージ制作部門におきましては、「ミュージカル『テニスの王子様』」において合計51公演分の実績を計上したほか、新たに関連DVDを2作品発売し、旧作リピートと合わせて受注が堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は788百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は183百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ788百万円減少し、14,553百万円となりました。主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少によるものです。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ652百万円減少し、3,994百万円となりました。主な減少要因は、買掛金の減少によるものです。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べて135百万円減少し、10,558百万円となりました。これは、四半期純利益531百万円を計上したものの、前連結会計年度末の配当により利益剰余金が減少したことによるものであります。自己資本比率は72.6%（前連結会計年度は69.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、コンシューマ事業において、前期発売のパッケージソフトのリピート受注が当初計画を上回り推移していることを主因として、第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。なお、通期の業績予想につきましては、下半期の不透明な情勢を踏まえ、前回予想を据え置いております。詳細につきましては、本日（平成25年8月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,123,957	7,556,117
受取手形及び売掛金	3,515,610	2,028,473
電子記録債権	28,386	43,991
たな卸資産	957,674	1,246,443
その他	1,013,380	883,651
貸倒引当金	△45,541	△42,432
流動資産合計	12,593,467	11,716,243
固定資産		
有形固定資産	611,596	567,096
無形固定資産		
のれん	227,096	218,163
その他	1,141,852	1,185,401
無形固定資産合計	1,368,949	1,403,565
投資その他の資産	876,858	981,403
貸倒引当金	△108,989	△114,446
固定資産合計	2,748,415	2,837,619
資産合計	15,341,883	14,553,862
負債の部		
流動負債		
買掛金	769,468	370,129
短期借入金	602,005	589,290
1年内返済予定の長期借入金	180,503	150,603
未払印税	965,837	852,578
未払法人税等	226,863	355,870
引当金	126,214	—
その他	1,699,746	1,611,961
流動負債合計	4,570,637	3,930,433
固定負債		
長期借入金	64,520	52,408
資産除去債務	12,059	12,066
固定負債合計	76,579	64,474
負債合計	4,647,217	3,994,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,128,472	1,128,472
資本剰余金	6,373,514	6,373,514
利益剰余金	3,226,614	3,089,584
自己株式	△27,726	△27,726
株主資本合計	10,700,875	10,563,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	17
為替換算調整勘定	△6,220	△4,907
その他の包括利益累計額合計	△6,209	△4,890
純資産合計	10,694,665	10,558,955
負債純資産合計	15,341,883	14,553,862

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,016,784	4,410,116
売上原価	1,444,432	1,935,713
売上総利益	1,572,352	2,474,403
販売費及び一般管理費	1,294,170	1,625,221
営業利益	278,182	849,181
営業外収益		
受取利息	1,458	614
為替差益	—	22,671
貸倒引当金戻入額	3,709	4,335
その他	774	2,597
営業外収益合計	5,942	30,218
営業外費用		
支払利息	3,729	2,515
持分法による投資損失	10,464	—
為替差損	9,399	—
その他	584	56
営業外費用合計	24,178	2,572
経常利益	259,946	876,828
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	259,946	876,828
法人税等	110,196	345,669
少数株主損益調整前四半期純利益	149,750	531,158
少数株主利益	—	—
四半期純利益	149,750	531,158
少数株主利益	—	—
少数株主損益調整前四半期純利益	149,750	531,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	6
為替換算調整勘定	△1,330	2,734
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,156	△1,420
その他の包括利益合計	△3,481	1,319
四半期包括利益	146,268	532,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,268	532,478
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	オンライン 事業	コンシューマ 事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,565,575	658,309	792,899	3,016,784	—	3,016,784
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	160	160	△160	—
計	1,565,575	658,309	793,059	3,016,944	△160	3,016,784
セグメント利益	305,768	11,282	205,303	522,354	△244,172	278,182

(注) 1 セグメント利益の調整額△244,172千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	オンライン 事業	コンシューマ 事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,944,755	1,677,335	788,026	4,410,116	—	4,410,116
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	330	330	△330	—
計	1,944,755	1,677,335	788,356	4,410,446	△330	4,410,116
セグメント利益	181,410	739,327	183,954	1,104,691	△255,509	849,181

(注) 1 セグメント利益の調整額△255,509千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。